鹿児島県立薩摩中央高等学校
高等学校DX加速化推進事業

DATE:	令和8年10月14日
Topic:	ICT を活用したヴァイオリンの授業～一人一人のペースに応じた学習～

音楽の授業では、毎年、約1ヶ月にわたり、発表会に向けたヴァイオリンの演奏に取り組んでいる。生徒のほとんどが初めて触れる楽器であるため、楽器の構え方や弓の持ち方、基本的な奏法から段階的に学習を進めている。

今年度は、**ICT** 機器を活用し、演奏動画で姿勢や弓の動かし方などを確認しながら練習に取り組んでいる。必要な場面を繰り返し視聴することで、生徒一人一人が自分の課題を捉え、自分のペースで練習を進められるよう工夫している。発表会を目標に、基礎的な技能の習得とともに、主体的に音楽表現に取り組む態度の育成を目指している。

※　本取組は「高等学校DX加速化推進事業」の一環で実施したものです。

